

英彦山 観光案内図



1 上宮 (山頂鎮座・標高 1,188.2m)
英彦山3峰の中心、中岳の頂上に鎮座する英彦山神宮御本社。現在の社殿は天保13年(1842)、肥前藩主鍋島斉公によって奉建されたもので、令和7年末まで修復工事中。



2 中津宮 (中宮)
英彦山の12所権現の1つで、祭神は市杵嶋姫命。社殿は安政4年(1857)、肥前藩主鍋島斉公によって寄進されました。平成3年の台風により倒壊し再建されました。



3 英彦山神宮奉幣殿 (国指定重要文化財)
修驗道時代の靈仙寺の大講堂。様式は千鳥破風入母屋造りで、現在の社殿は元和2年(1616)、小倉藩主細川忠興公の寄進により再建されたものです。



4 材木石
南岳にある玄武岩柱状節理で、木材を積み重ねたように見えることから、この名で呼ばれています。また鬼が残した木材が石になったという伝説もあります。



5 望雲台
山伏の修行場のひとつで約150mの垂直の崖壁です。眺望は雄大で周防灘や田川盆地、平尾台、福智山などが遠望できます。



6 高住神社 (豊前坊)
家内安全、牛馬安全、五穀豊穣に御利益があるとされています。また日本八大天狗のひとり豊前坊天狗が祀られていることでも有名。



7 鷹巣原高原のスキー
英彦山青年の家キャンプ場そばの鷹巣原高原は約6haの広大な斜面にスキーが群生し、秋になると一面銀世界に輝きます。



8 梵字ヶ岩
高さ30mの巨岩の壁面に「阿弥陀」「釈迦」「大日」3仏を示す梵字の彫刻が直径3mあまりの円内に見られます。



9 磨崖仏
鎌倉時代の菩薩像で、高さは130cm。岩壁には全国的にも希少な銘文が彫られています。



10 鬼スギ (国指定天然記念物)
高さ38m、胸高周囲12.4m、推定年齢1,200年で林野庁選定の「森の巨人たち百選」に選ばれました。



11 大南神社 (大南窟)
英彦山12所権現の1つで、祭神は火天明命(不動明王)。峰入り修行では重要な窟でした。



12 玉屋神社 (般若窟)
法蓮上人(700年代)が英彦山で修行した窟で、現在旧暦の6月3日に行われる御池さらえの神事が有名です。湧水は靈水として知られます。



13 旧亀石坊庭園 (国指定名勝)
室町時代の画僧雪舟が作庭したと伝えられ、国の名勝にも指定されています。



14 英彦山スロープカー 英彦山花園
英彦山神宮奉幣殿まで表参道に並行して走る英彦山スロープカーと、シャクナゲを中心とした花木が美しい花園です。

15 財蔵坊
(県指定有形民俗文化財)
山伏が生活した坊舎で当時のままの姿を残した唯一のものです。
●開館日/土・日・祝日(不定休あり)
午前10時~午後3時 (冬期休館19年(1734)に架けられました)



16 銅鳥居 (国指定重要文化財)
高さ7m、柱まわり3mの青銅製の大鳥居で寛永14年(1637)肥前藩主鍋島勝茂公により寄進。「英彦山」という額は靈元法皇の勅命により享保19年(1734)に架けられました。